

平成25年度 第5回調査・研究企画会議 議事概要

1 日時：平成26年1月8日（水） 10：00～16：20

2 場所：食品安全委員会中会議室

3 出席者（8名）五十音順

圓藤 陽子（（独）労働者健康福祉機構関西労災病院
勤労者医療総合センター・産業中毒センター長）

尾崎 博（国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進部部長）

川村 孝（国立大学法人京都大学環境安全保健機構健康科学センター長）

熊谷 進（食品安全委員会 委員長）

◎佐藤 洋（食品安全委員会 委員長代理）

山添 康（食品安全委員会 委員長代理）

三森 国敏（食品安全委員会 委員長代理）

（◎：座長）

その他、事務局から姫田事務局長ほか11名が出席

4 議題

- （1）平成25年度採択研究課題（課題番号：1301、1302、1303）の中間評価（ヒアリング審査）の実施
- （2）平成26年度新規公募研究課題のヒアリング審査対象課題の選定
- （3）平成25年度終了研究課題（課題番号：1101、1102、1103、1104、1201、1202、1203、1204）の進捗状況の報告
- （4）平成26年度食品安全確保総合調査課題（案）の検討
- （5）食品安全確保総合調査課題の事後評価方法について

5 議事概要

- （1）平成25年度採択研究課題（課題番号：1301、1302、1303）の中間評価（ヒアリング審査）の実施

本年度に採択し、実施中の5課題のうち、次の3課題について、次年度への研究の継続の要否、研究計画の見直し等について審査するため、当該研究課題の主任研究者に対してヒアリング審査を実施した。残りの2課題については、次々回の会議においてヒアリング審査を実施することになった。

①1301： ヒト型遺伝子改変マウスを用いた非定型 BSE の人に対する感染リスク

の定量的評価（松浦裕一（独）農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所）

②1302：核内受容体作用と酵素誘導解析を基盤とした、化学物質による肝肥大の毒性学的評価に関する研究（吉成浩一 東北大学）

③1303：化学物質により誘発される肝肥大の毒性学的評価手法の確立と今後の問題点（吉田緑 国立医薬品食品衛生研究所）

（2）平成26年度新規公募研究課題のヒアリング審査対象課題の選定

平成26年度食品健康影響評価技術研究公募要領に基づき応募された32課題について、各委員が事前に行った書面審査の結果をもとに審議した結果、以下の10課題について、次回の会議においてヒアリング審査を実施することとなった。

【ヒアリング審査対象課題】

受付番号：2、8、12、13、17、20、21、22、23、27

（3）平成25年度終了研究課題（課題番号：1101、1102、1103、1104、1201、1202、1203、1204）の進捗状況の報告

事務局から、平成25年度に研究が終了する予定の8課題について、各主任研究者から提出された研究成果中間報告書をもとに平成25年10月末現在の研究の進捗状況を報告した。

（4）平成26年度食品安全確保総合調査課題（案）の検討

事務局から提示した平成26年度に実施すべき調査課題候補（案）について審議を行い、案のとおり了承された。今後、事務局で各課題の仕様書（案）等を作成し、次回の会議で審議することとなった。

（5）食品安全確保総合調査課題の事後評価方法について

事務局から提示した食品安全確保総合調査課題の事後評価方法（案）について審議を行い、委員の意見を踏まえて評価体制、評価時期等について事務局において改めて検討したうえで、次回の会議で再度審議することとなった。

—以上—

（注：本会議は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。）